

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度、下記の項目につきまして本年4月より検査方法等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 検査内容変更項目

別掲の一覧表をご参照下さい。

#### 実施期日

平成17年4月1日(金)受付日分より

#### 【追記】

過日「アミノ酸分画」の項目コードを本年4月1日より変更する旨ご案内を差し上げました(Information 05-07)が、専用報告書の改訂に併せて切替日を本年4月4日(月)とさせていただきます。ご留意の程お願い申し上げます。

対象項目：[1345]アミノ酸分画<血漿・髄液・透析液>、[4276]アミノ酸分画<尿>

# 検査内容変更一覧

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
0320	百日咳菌抗体	検体量 所要日数	血清 0.3mL 5～6日	血清 0.5mL 5～7日	
0559	フィブリノーゲン	使用試薬	フィブリプレストA [ロシュ・ダイアグノスティックス]	フィブリノーゲンa「RD」 [ロシュ・ダイアグノスティックス]	試薬製品名の変更
1139	プロテインC活性	検査方法 基準値	合成基質法 [第一化学薬品] 64～135%	合成基質法 [シスメックス] 73～142%	測定試薬の変更 基準値の再設定
1680	第 因子定量	項目名称 検査方法	第 因子定量 ラテックス凝集法 [ロシュ・ダイアグノスティックス]	第 因子活性 合成基質法 [シスメックス]	測定試薬の変更
1844	ブルセラ凝集反応	検体量 所要日数 委託先表示	血清 1.0mL 6～12日 17(北里大塚バイオメディカルア ッセイ研究所)	血清 2.5mL 10～14日 12(SBS)	委託先の変更
1017	遊離コルチゾール (非抱合型コルチゾール)	備考	トルエン1～2mLを加え、冷所に蓄尿し、よく混和し所定量をご提出ください(酸性蓄尿は不可)。	トルエン1～2mLを加え、冷所に蓄尿し、よく混和し所定量をご提出ください。	注記の変更
1067	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	検体量 備考	尿 1mL (削除)	蓄尿 1mL または 部分尿 1mL トルエン1～2mLを加え、冷所に蓄尿し、よく混和し所定量をご提出ください。	蓄尿不要(随時尿で可)のため
2998	成長ホルモン(GH)	基準値 報告下限値	M 0.64 ng/mL以下 F 0.11～3.90 (負荷前安静時) 0.03ng/mL未満	M 1.46 ng/mL以下 F 0.28～8.70 (負荷前安静時) 0.05ng/mL未満	較正標品の標準化
6579 4884	クラミジア・トラコーマ 同定DNA <ぬぐい液><尿>	判定基準	陰性 1.00未満 陽性 1.00以上	陰性 1.00未満 判定保留 1.00以上2.50未満 陽性 2.50以上	判定保留域の削除
8426 4881	淋菌同定DNA <ぬぐい液><尿>	判定基準	陰性 1.00未満 陽性 1.00以上	陰性 1.00未満 判定保留 1.00以上2.50未満 陽性 2.50以上	判定保留域の削除
7394	STD-DNA同定セット	判定基準	クラミジア 陰性 1.00未満 陽性 1.00以上  淋菌 陰性 1.00未満 陽性 1.00以上	クラミジア 陰性 1.00未満 判定保留 1.00以上2.50未満 陽性 2.50以上  淋菌 陰性 1.00未満 判定保留 1.00以上2.50未満 陽性 2.50以上	判定保留域の削除
3619	VIP	委託先表示	16(エスアールエル)	12(SBS)	委託先の変更

「プロテインC活性」「第 因子定量」につきましては、測定試薬の供給中断により暫定措置として代替試薬による測定を実施してまいりましたが、旧測定試薬の供給再開の目処が立たず、現行測定試薬を正式な測定法として位置付けることと致しました。また、「プロテインC活性」の基準値を弊社従業員健常者の実測値に基づき変更させていただきます。

## 成長ホルモン(GH)

成長ホルモン(GH)の測定値におけるキット間差是正を目的に、メーカー各社合同の措置として、今春よりWHOのリコンビナントGH標品(WHO98/574)に基づいて値付けした製品が供給されることになりました。

これに伴い弊社現行使用キットの測定値は従来の約0.45倍となることから、基準値ならびに報告下限値を再設定させていただきます。

### 新旧二法の相関

